

3. 交通バリアフリーに関する市民意向の把握

交通バリアフリーに関する市民意向を把握するため、アンケート調査及びタウンウォッチングを実施しました。

(1) アンケート調査の実施

アンケート調査の実施結果は次のとおりです。

調査時期：平成17年12月～平成18年2月

調査方法：周辺地区住民および鉄道利用者を対象にアンケート調査を実施

表3.1 アンケート調査方法

調査対象	調査方法	配布数	回収数	回収率(%)
駅周辺地区住民	ポスティング(周辺地区家屋の郵便受けに投函)郵送回収	610	166	27.2
	高齢者・障害者団体に通じて配布・郵送回収	125	70	56.0
鉄道利用者	駅降車客に対するアンケート・インタビュー	403	112	27.7
合 計		1,138	348	30.6

1) 駅周辺地区住民調査

年齢構成と移動時の身体的負担

回答者の年齢は全世代にわたっていますが、65歳以上の高齢者の占める割合が51%となっています。移動時に身体的負担を感じる人は全体の48%で、「加齢」「身体が不自由」な方が32%を占めています。

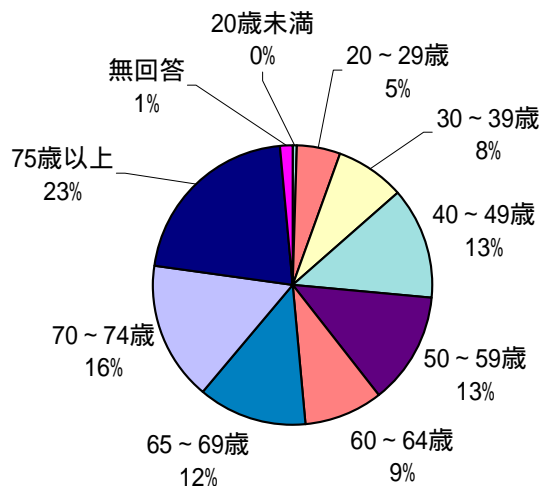


図3.1 回答者の年齢構成

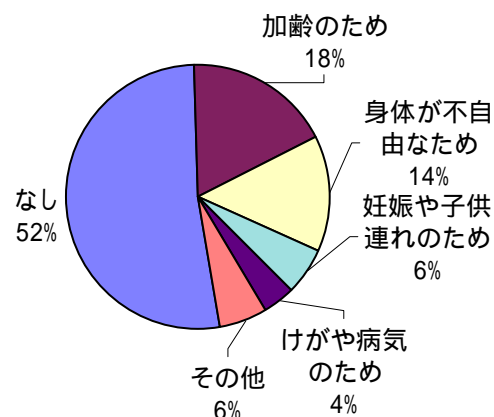


図3.2 移動時の身体的負担

よく利用する施設

JR八尾駅周辺で普段よく利用する施設としては、八尾郵便局、八尾市役所龍華出張所・コミュニティーセンターなどが挙げられています。障害者の方では病院・医院の割合も高くなっています。

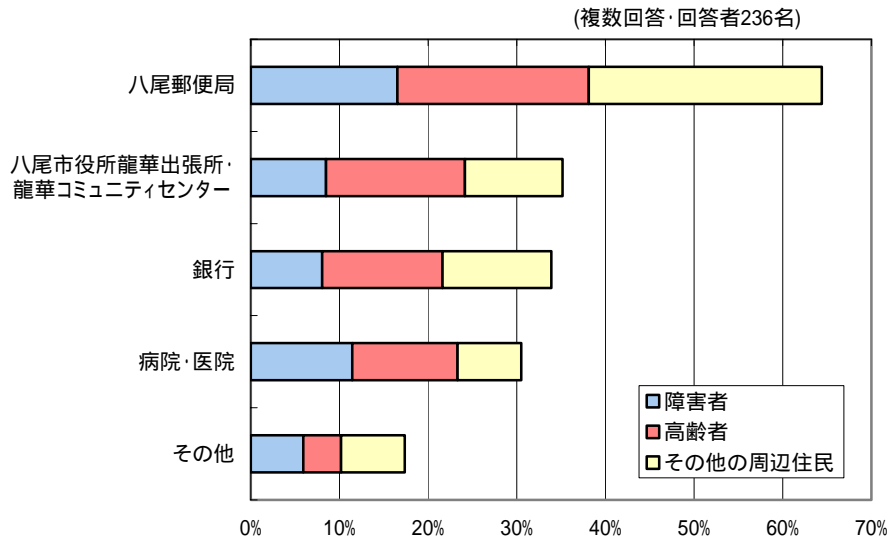


図3.3 よく利用する施設

駅から施設への問題点

駅から普段よく利用する施設への経路における問題点としては、年齢にかかわらず「障害物がある」ことを指摘する人が最も多く、次に「歩道の幅が狭い」、「歩道がない」などが指摘されています。

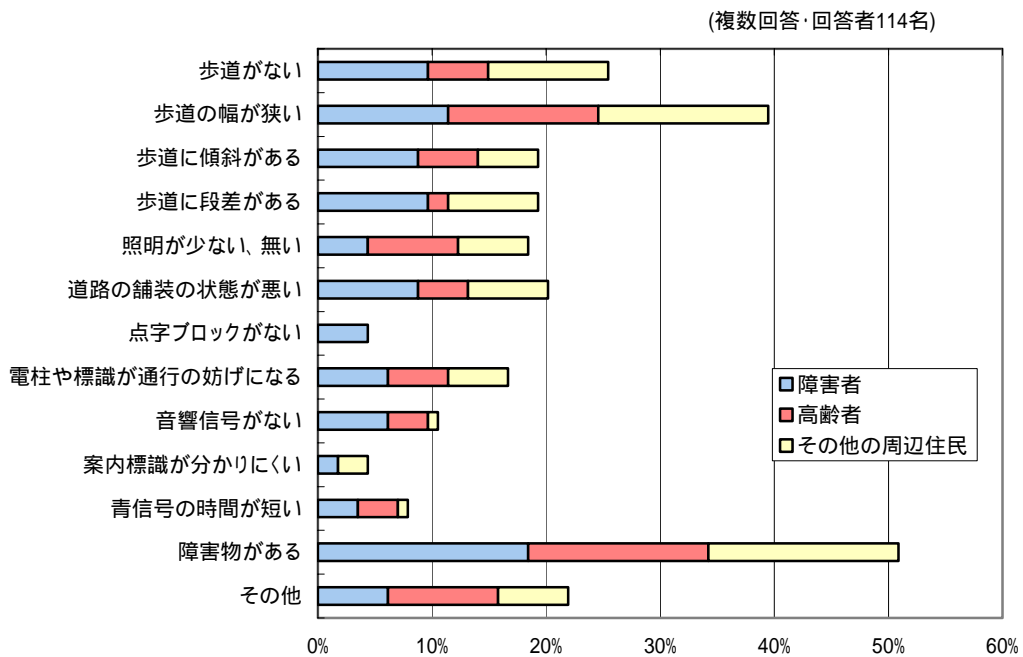


図3.4 駅からよく利用する施設への経路の問題点

駅の問題点

回答者の年齢にかかわらず「エスカレーターがない」や「エレベーターがない」など、駅の垂直移動手段がないことを問題としている人が多く、障害者や高齢者の方では特に高い割合となっています。

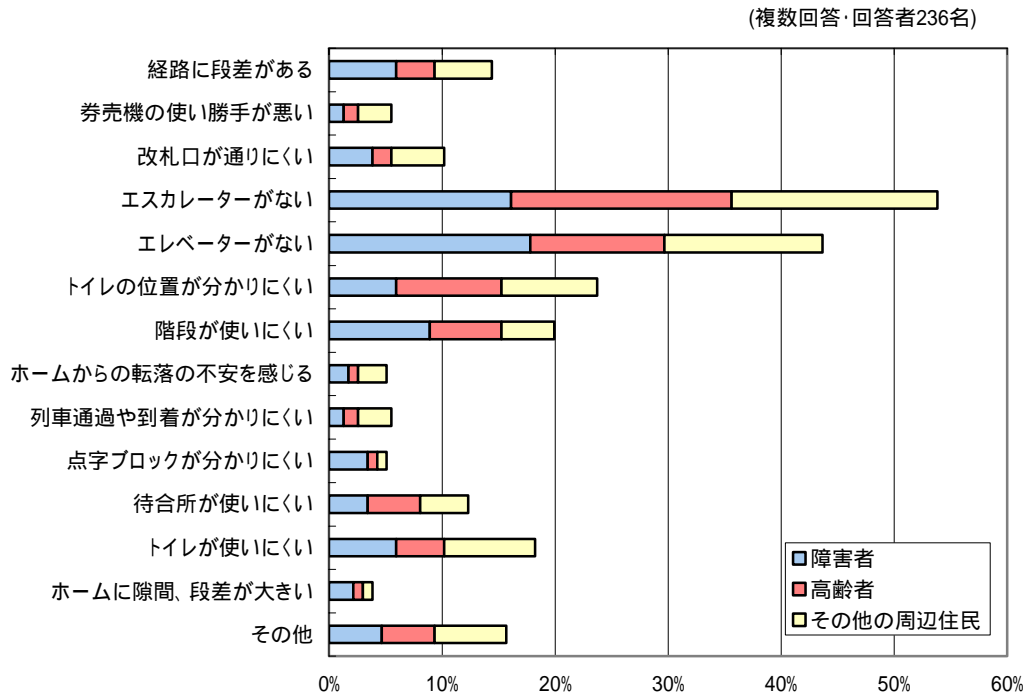


図3.5 駅の問題点

駅前の問題点

JR八尾駅前の問題点としては、「放置自転車で通路が通りにくい」という指摘が特に多くなっています。

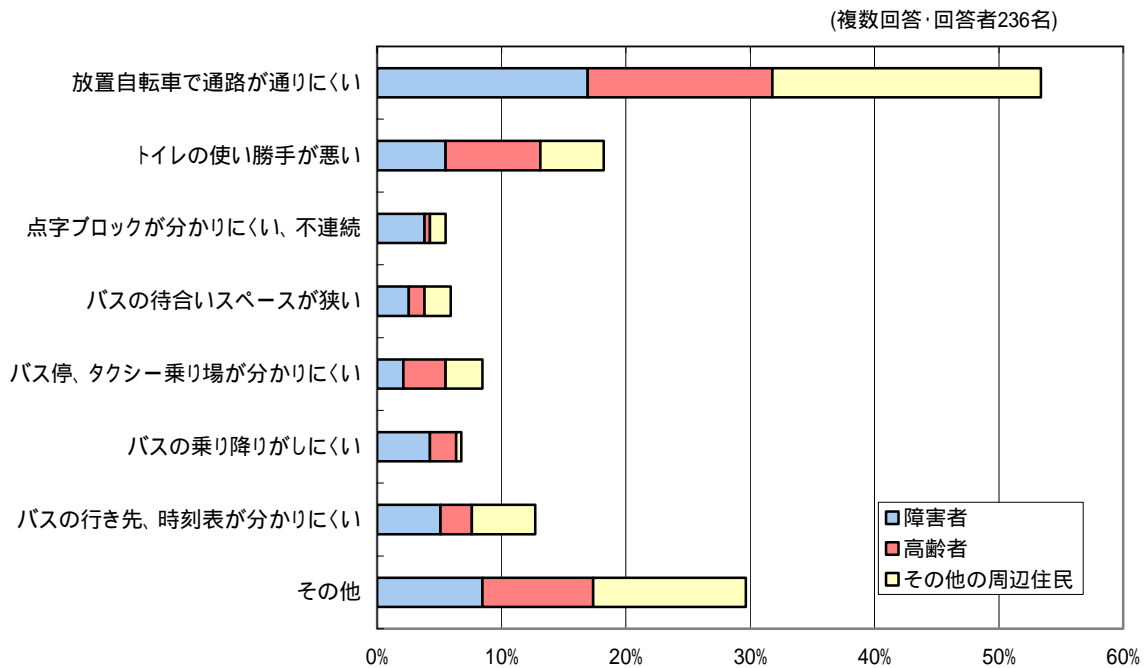


図3.6 駅前の問題点

2) 鉄道利用者調査

年齢構成と移動時の身体的負担

回答者の年齢は65歳以上の方が35%で、50歳代の方が33%と多くなっています。また、移動時に身体的負担を感じる方は14%となっています。

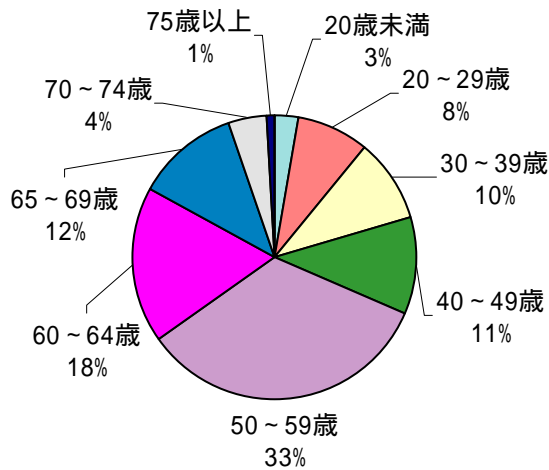


図3.7 回答者の年齢構成

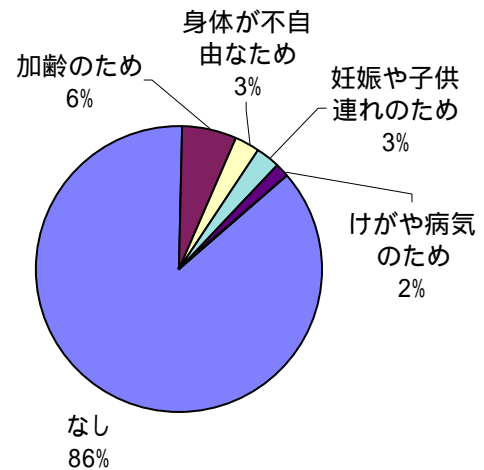


図3.8 移動時の身体的負担

よく利用する施設

JR八尾駅周辺でよく利用する施設は、周辺住民の方と同様に「八尾郵便局」、「八尾市役所龍華出張所・龍華コミュニティセンター」となっています。

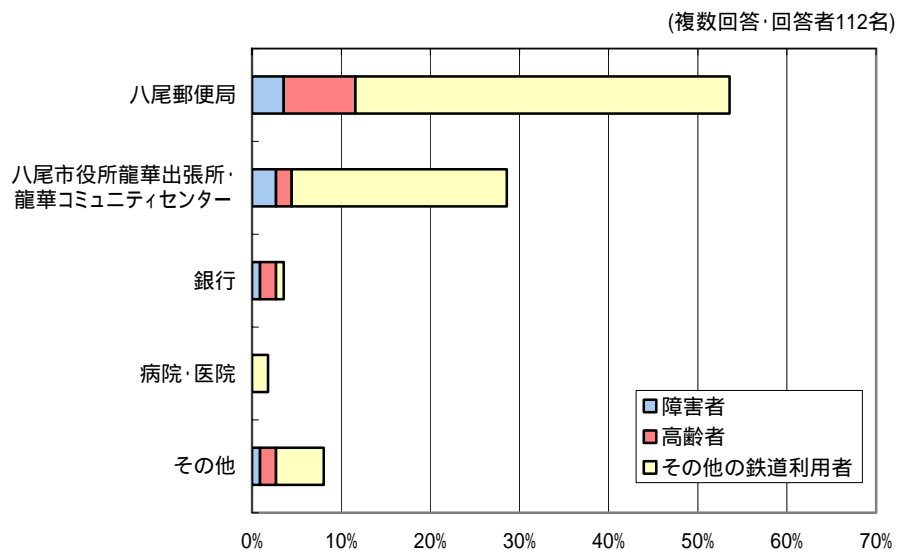


図3.9 よく利用する施設

駅から施設への経路の問題点

駅からよく利用する施設への経路の問題点としては、「歩道の幅が狭い」、「照明が少ない」、「歩道がない」が多く指摘されています。特に、「歩道の幅が狭い」ことは、年齢に関わらず高くなっています。

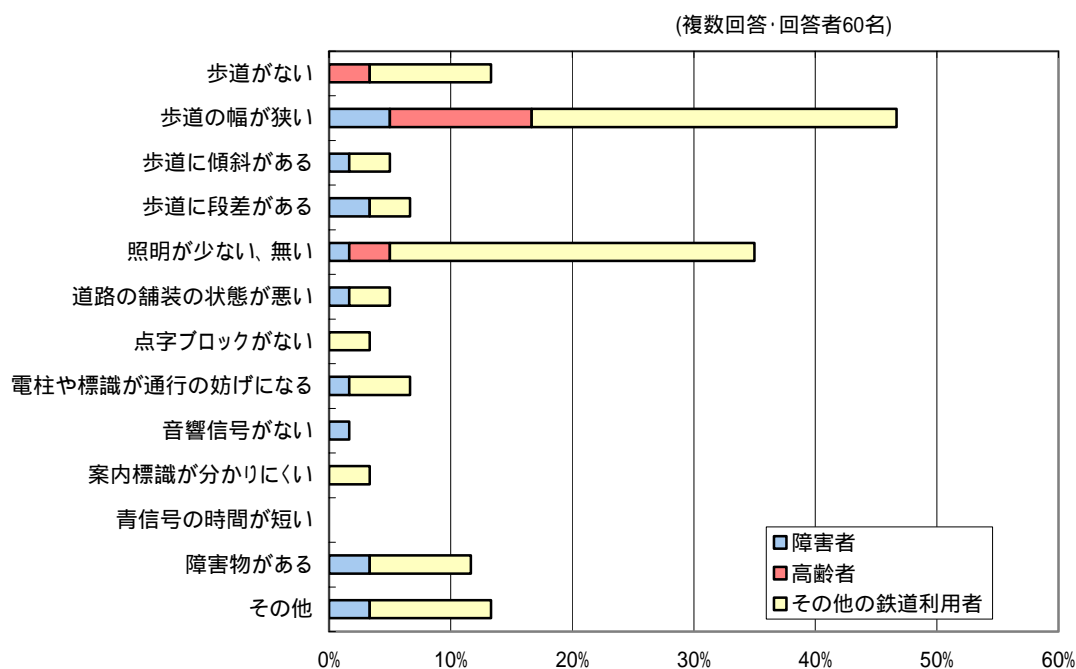


図3.10 駅からよく利用する施設への経路の問題点

駅の問題点

駅の問題点としては、周辺住民の方と同様に「エスカレーターがない」や「エレベーターがない」など、駅の垂直移動手段がないことを問題としている人が多くなっています。

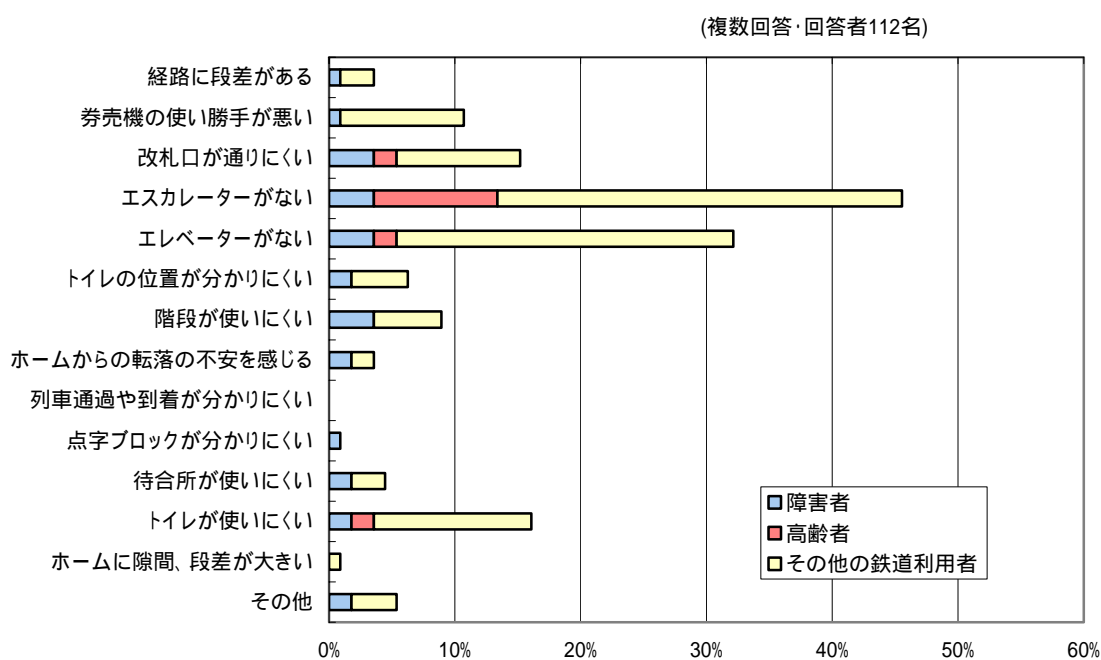


図3.11 駅の問題点

(2) タウンウォッチングの実施

タウンウォッチングの実施結果は次のとおりです。

実施日：平成17年12月6日(火) 13:00～16:30

参加者：50名

(障害者、高齢者の参加数)

車いす使用者 3名

視覚障害者 3名

聴覚障害者 1名

その他障害者 1名

高 齢 者 3名

合 計 11名



図3.12 タウンウォッチングの流れ



市道電華第16号線

- ・歩道が狭い



市道八尾第238号線

- ・長瀬川に架かる橋の歩道部分が山形になっている



長瀬川散策道（仮称）

- ・長瀬川沿い道路のインターロッキングは振動が伝わり車いすで利用できない
- ・点字ブロックが分かりにくい



市道西郷植松線

- ・点字ブロックはあるが音響信号がない
- ・歩道部2.5m、植栽70cmで、安心して歩けるスペースになっている



市道電華第119号線

- ・一方通行の所は車優先になっているため歩行者が危ない



**主要地方道
旧大阪中央環状線**

- ・点字ブロックの上に放置自転車
- ・点字ブロックが浮いている箇所がある



市道電華第97号線

- ・インターロッキングは、振動が伝わり車いすで移動がづらい



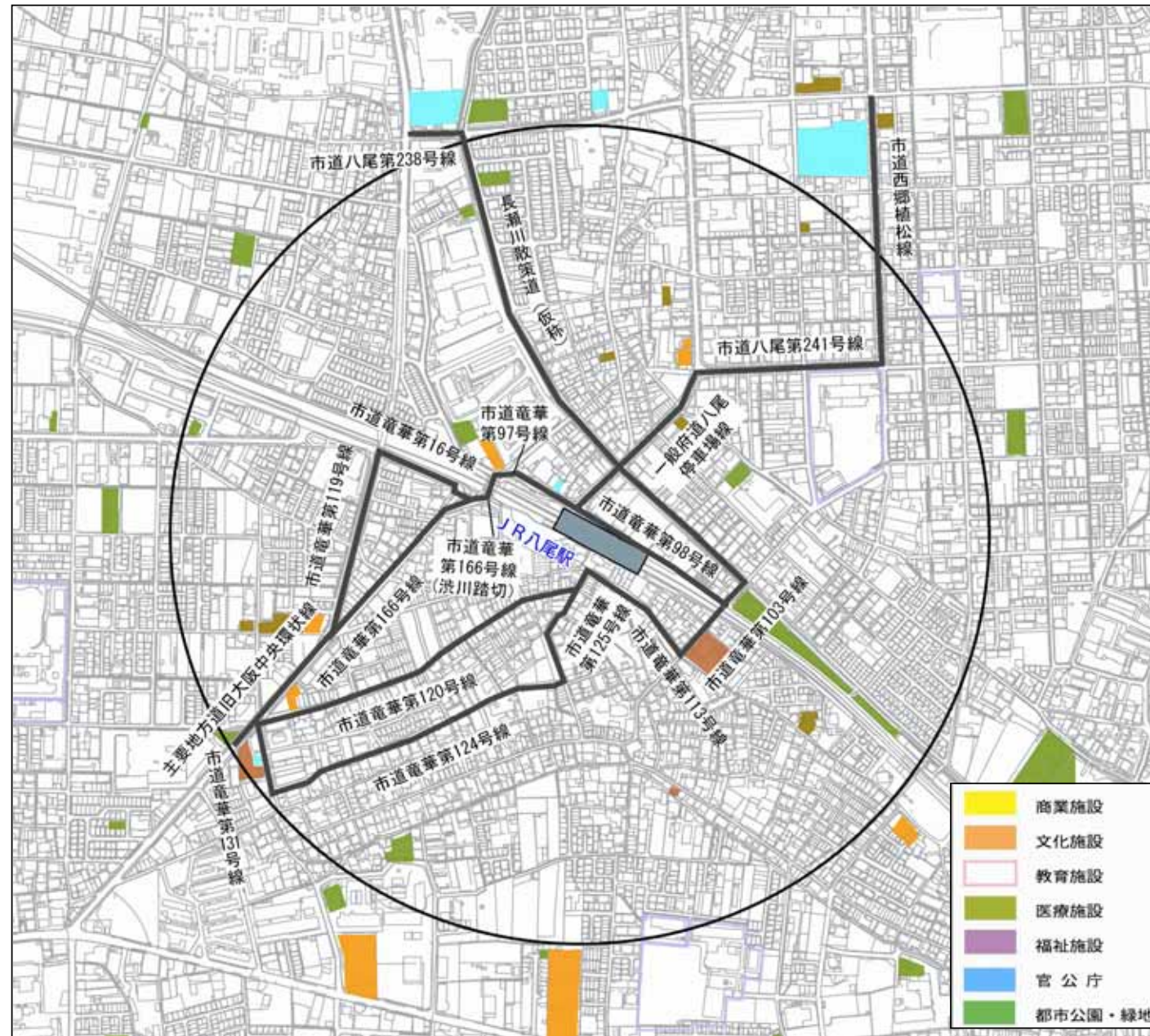
**市道電華第166号線
（渋川踏切）**

- ・歩行者、自転車が多くのに遮断機が邪魔をして幅が狭い
- ・踏切内のグレーチングの目が粗い



市道電華第124号線

- ・川の横のフェンスが低く危ない
- ・横断勾配が急
- ・道が狭くなったり、広くなったりするのは危険



JR八尾駅

- ・南北の往来が出来るエレベーター等の移動施設がない
- ・車いす対応トイレがない
- ・改札口に車いす用がない
- ・券売機に蹴り込みがなく車いすにはやや高い
- ・料金表を大きく分かりやすい様にして欲しい



市道八尾第241号線

- ・歩道上に店舗の看板やエアコン室外機などがせり出している



一般府道八尾停車場線

- ・放置自転車により歩道が狭くなっている
- ・点字ブロック上にも自転車が放置されている



市道電華第98号線

- ・交通が多いのに歩道がなく危険
- ・駅前では車道がタクシーの待合場所になっている



市道電華第103号線

- ・道幅が狭い
- ・道がかまぼこ状になっている



**市道電華
第113号線・125号線**

- ・道路上に放置自転車があり歩きにくい

図3.13 道路・駅の問題点